

第2分科会	素材との出会い	学年	小学3年
提案者	前橋市立原小学校 堀込 恵		

テーマ きらきらファンタジーランド『材料とかわり 友達とつながる造形』

研究主題 『イメージを膨らませ、造形活動を楽しむ児童の育成』

副主題 ～材料に主体的にかかわり、友達とつながる学習環境の設定を通して～

1 はじめに

本題材では、身近にある光を通すものを選んだり、組み合わせたりして主体的に材料とかわり、形や色から生まれる光の世界を表現する。また、児童が自分のイメージを膨らませながら楽しく造形活動をするために、児童が自然に発想を広げたり、話し合ったりすることのできる学習環境の設定を工夫する。

2 実践の概要

(1) 題材の内容

本題材は、身近にあるペットボトルや卵パックなどの光を通す材料を使った造形活動である。児童にとって身近な光を通す材料を使った造形活動を通して、光を通した感じや組み合わせによる形や色の感じ、光を当てた時とそうでない時の形や色の感じの違いに気付いたり、素材のもつ透過性から、イメージを膨らませたりすることができる。材料や用具の特徴を生かして自分のイメージした世界を創造する力を育むこともできる。

(2) 題材の目標

目標

【知識及び技能】

- ・自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かる。
- ・ペットボトルなどの光を通す材料やペットボトルばさみなどの用具を適切に扱うとともに、前学年までの光を通す材料やばさみなどの用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・ペットボトルなどの光を通す材料に光を当てることをきっかけに表したいことを見付け、色や形、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。
- ・自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。
- ・形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつ。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・進んでペットボトルなどの光を通す材料で立体に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などにかかわり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

(3) 学習計画（全4時間計画）

- 1 光を通す形のよさや面白さから、「きらきらファンタジーランド」への思いを膨らませる。（1時間）
- 2 光を通す材料の扱い方を工夫して組み合わせ、自分なりの「きらきらファンタジーランド」の世界を工夫して表す。（2時間）
- 3 光をあてて並べた「きらきらファンタジーランド」の世界を鑑賞する。（1時間）

(4) 授業の実態

お試しコーナー（暗室）



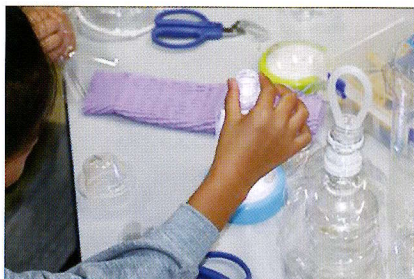
材料コーナー（真ん中に配置）



グルーガンコーナー



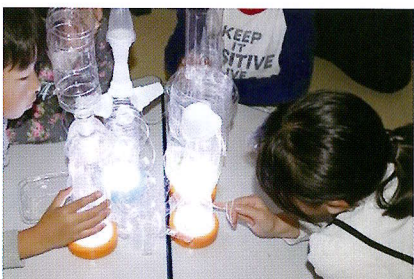
円形の机を4人グループで配置し、手元にもライトを個々に用意した。



お試しコーナー（暗室）で試行錯誤



2時間目の最後に全体を暗くして、グループで見合う。



3 おわりに

成果としては、

「材料の豊かさが良かった。」「形に注目して作ることができ工夫が見られた。」「お試しコーナー（暗室）を設けたことで、光が当たるとどのようなようになるのか、実際に試して考えることができた。」「同じ机の子の使っている材料を見て、同じ材料を持ってきて使ってみたりする様子が見られ、学び合いができていたと感じた。」「カードでなく、振り返りのお楽しみタイムがよかった。光り方で確かめることで改善点やよさが見える。友だちの作品も参考になる。」「暗くなった瞬間、ファンタジーランドが出現し「わあー」という歓声があがった。喜びにあふれ、それが良かった。」などが挙げられた。

課題としては

「ライトを壁面に設置しておくのもおもしろいかもしれない。」「デコボコさせるには、きらきらさせるには、組み立て感を出すには、どうすればよいか確認できると次の活動につながるのでは?」「光を当てる方向が下からという子が多いと感じた。横からや上からなどの光の当て方も鑑賞の際に声をかけてもよいのではないか。」

「光を通して見えることを試す場であったはずだが、形をいかにおもしろくするかにってしまった。」

「途中の作品を例にあげて、光量の変化の美しさを見せると児童の視点が広がると思う。友だちとつながる活動なので、途中一度切って友だちの（他のグループの）作品を見て回る時間があってもよいと思う。」「子どもに気づいてほしいこと、自ら気づくべきことを示しすぎでは。」などが挙げられた。